

事業所名 **ハルガーデン(居宅訪問型児童発達支援)**

支援プログラム (参考様式)

作成日 **2024年 7月 18日**

法人(事業所)理念	当法人(事業所)は創設地の根柢に位置している。圏域は広く、過疎化が進んでいるが、自然が多い魅力的な地域でもある。本人・家族の意向を伺いながら、障害をもつ方がこの地域で暮らしを感じながら未来を過ごせることを支援を行っていくことが、当法人(事業所)の理念とする。						
支援方針	当事業所の主たる対象は重症心身障害者である。居宅訪問型児童発達支援では0・1・2歳児が主の対象となり、家庭への訪問を行うことになる。そのため、医療的なケアを含む様々な病態に対応でき、楽しみをもつことも、将来起こりうる病態を予測しながら日々の関わりを行っていくことが当法人(事業所)の支援方針である。						
営業時間	9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	送迎範囲は村上市・船内市・関川村(一部の地域を除く)
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	本人・家族の生活リズムが安定することが基盤となる。日常生活を安定して送ることができ、通所・訪問支援を安定して行えること。それに伴い、家族の休息・余暇活動・就労に繋がることを目指す。通所へつなげられることを目標の一つに掲げる。					
	運動・感覚	乳幼児期・学童期・青年期の介入になる。運動発達がより順調に進むことが大切と考える。運動発達が進むためにも感覚入力は非常に大切であり、より良い運動・感覚入力の基礎が生まれるように、そして運動発達が進み、二次的な障害に繋がらないよう支援していく。					
	認知・行動	運動・感覚にも関連してくるが、認知機能が向上すること、行動が落ち着き安定することを、日常生活の自立度が向上し、楽しみながら日々を過ごせることを目標とする。					
	言語コミュニケーション	理解、発話のコミュニケーションが円滑に行えること。言語的なコミュニケーションが難しい場合には代替的なコミュニケーション手段を獲得できるように支援していく。					
	人間関係 社会性	年齢が上がるとともに、社会に出る機会も増え、より良好な人間関係・社会性を築けるように支援していく。					
家族支援	本人への関わりは勿論だが、兄弟が居る家庭は多く、父母と兄弟が過ごす時間は大切に考えるので、金銭支援を有効的に活用して頂く。また、些細なことでも相談しやすい専門職の法人(事業所)を選定行っていく。	移行支援	保育所等への移行、学校生活が円滑に行くこと。成人分野のサービス利用が円滑に行えることを目標に介入していく。				
地域支援・地域連携	医療的ケア受コーディネーターが在籍しているため、自立支援協議会への参加、状況に応じた相談に対応していく。		職員の質の向上	多種多様な病態があるため、内即・外部研修を繰り返し行い、質を少しでも高まらせるようにしていく。			
主な行事等	本人の体調に応じるが、季節の行事、地域行事へ参加し、非日常的な刺激を受ける支援も行って、様々な経験を通じて、より良い発達に繋がるように支援していく。						